



種まきから継続へ ～正風館・南公民館の清掃活動～

庄和地区市民大学の6期生が地域の発展に貢献したい、この庄和地区に、「花一杯のウォーキングロードを作りたい」との思いから、ボランティアの会「美しいふる里を守る会」を、平成19年に立ち上げました。手始めとして、ヘドロの悪臭が漂い、ゴミが沢山捨てられていた庄内悪水路の両岸の清掃と決め、率先して川に入り、草刈り・川さらい・枯草木の伐採、可燃・資源ゴミ・雑木・流木・枯れ草など車4～5台分を2日間でやり遂げたそうです。ボランティア活動の種まきでした。



正風館



正風館

学生の中から、普段からお世話になっている正風館へのお礼をしたいという声があがり、「美しいふる里を守る会」の持っている道具・人を活かした活動ということで、正風館との話し合いで正風館の清掃を平成19年にやることになりました。まず、「正風館まつり（今は公民館まつり）」開催の前に正風館の周りをきれいにしようということが正風館清掃の始まりです。同じく、南公民館清掃も「南公民館まつり（現在はなし）」の前に清掃をしようということが始まりでした。



南公民館

平成28年に「美しいふる里を守る会」を引き継いだ「NPO法人庄和ふる里を守る会」は市民大学の学生会・学友会・健康麻雀クラブとともに、おらほのラジオ体操で始まる年5回行われる清掃活動を支援しています。また、市民大学の先輩が語っていた「ボランティアは楽しく無理なく継続すること」を肝に据えて、15年続いている正風館と南公民館の清掃支援の継続を大切にしたいものです。

『NPO 法人庄和ふる里を守る会』等の皆様に感謝！！

正風館館長 當間正恵

令和4年4月に就任しました正風館館長の當間と申します。NPO 法人庄和ふる里を守る会の皆様には、平成19年8月に正風館の草刈り等の清掃を行っていただいたのが始まりで、長きにわたり清掃活動を実施いただき厚く御礼申し上げます。併せて、庄和地区市民大学学友会・学生会及び庄和地区健康麻雀クラブの皆様にも御礼申し上げます。

現在は庄和市民センター正風館周辺が3回、庄和南公民館周辺が2回と年間5回、本格的な草刈り等の道具でプロ並みの作業を行っていただいております。また、このような清掃活動をしていただくことで地域がきれいになり住みやすい街づくりにつながっております。今後ともより一層のご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

花植えと 凧揚げと 歓声と

— 子供たちと自然とのふれあい —

6月18日（土）晴天の下『第13回みんなで花を植えよう』を開催しました。今回は少年野球チーム（ジャガーズ）14名、少女野球チーム（春日部さくら）10名に加えて庄和地区市民大学の学生、宝凧の会の会員、当会の会員を含めて大人が45名ほど集まりました。

また、数名の幼児もおりました。さくら公園にある2つの花壇の夏の花への衣替えにサルビア192鉢と松葉ボタン192鉢を植えて、子供たちの個性あふれる素晴らしい花壇が出来上がりました。自分の植えた株を工夫して何回も植え替えている子どもや植え方を考えている子どもたちの真剣な愛らしい姿がありました。これから来る夏の厳しい暑さにも負けず、花も子どももすくすくと育ててほしいと思います。



花植えが終わった後は、宝凧の会のメンバーの指導で、漫画のキャラクターに思いを馳せながら思い思いの色の絵具を使って描き、骨組みを作って凧を完成させました。自分で作った凧が高く揚がるようにと、足を長くしたり、短くしたり、工夫して楽しんでいました。子どもたちの空に突き抜けるような歓声が上がリ、賑やかで楽しい花植えと凧揚げになりました。「凧揚げに」「花植えに」と興じる姿から、たくさんのエネルギーを目から耳から貰いました。皆様が公園の花壇を見ながら子供たちの花植え作業と凧揚げを想像して頂けたら幸いです。



多くの品物が集まった「第2回朝市」の開催

7月23日（土）に梅雨明けの青空の下、清掃終了後、新会員の歓迎をテーマに第2回「朝市」を開催しました。6月の雹の被害で多くの野菜がダメージを受けての開催となりましたが、会員の努力とご厚意によりたくさんの品が集まりました。無農薬の野菜はジャガイモ数種、玉ねぎ、キュウリ、金ごまの葉等10種類、他にも多肉植物、鈴虫、折り紙の人形とピエロ、と盛沢山でした。

配布の順番は新会員優先で番号くじを引きます。でも紙に書かれた質問に答えなければなりません。「奥様との出会いは！」「最近良いことありましたか！」「NPOについて」「ボランティアについて」「好きな麺類は？」等々の質問への正答、怪答がありました。

「健康ですか！」の問いに、奥様の介護のため「健康でいなくては・・・」との回答したお話には心打たれました。今年もまた会員の意外な発見がありました。野菜の調理法あれこれで、会員との交流を深め楽しいひと時を過ごしました。袋いっぱい野菜をお土産に今後の活動に期待したいと思います。今でも鈴虫は爽やかな音色で、秋の訪れを知らせているようです。



周辺施設のご紹介 東武スポーツみなみさくらい

南桜井駅の改札を出てすぐのところにある「東武スポーツみなみさくらい」は、駅を利用されている方にはご存じの方が多いと思います。(株)東武スポーツは東武線沿線に多くのスポーツクラブを運営されており、開設3番目のスポーツクラブとして1989年3月に開設され、34年が経過しています。

特徴は(株)東武スポーツの店舗の中で、唯一、駅ナカにあり、駅から徒歩0分、改札口から傘をさす必要がないところで、長方形の土地形状制約により、細長くコンパクトな施設となっています。

運営方針は、気軽においでいただき、生活の一部となる施設となるように務めているとのことです。

会員は庄和が中心で、通うのに便利であることから野田線沿線からも訪れています。会員構成は大人6割、子供4割(プールがメイン)の比率となっており、開設当初からの人も多く、本人、子供、孫の三世代に渡る会員や、子供の時の会員で大学生となり、アルバイトに来ている人がおられます。



新型コロナの影響により、運動ができない時期があったため、会員の減少等の影響を受けましたが、規制の緩和や在宅勤務による運動不足等により、徐々に元に戻りつつあります。

感染防止のために、こまめな消毒、換気、ソーシャルディスタンス確保に努めています。スポーツ施設であるため、事務所などの施設と比べると換気施設の能力は高く、十分な換気が行えています。ソーシャルディスタンス確保には時間や人数制限を行っています。これらの対策により、これまで感染者は出ておりません。

会員には不便をおかけしますが、引き続き感染対策にご協力いただきたいと思います。

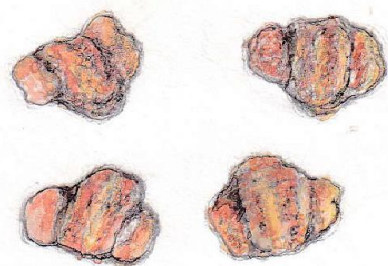


話の種子 <第六話>

カラスウリの花と種子

カラスウリの花は夏の宵に開く。夕闇の中に浮き出るが如く咲く真っ白の花だ。5裂した花弁のふちは糸状に細長く裂けて垂れ下がる。あたかも手編みしたレースのようだ。詩人尾崎喜八の詞を借りると、天然のレース細工、春雪の八方なだれ、白糸の滝、綾なす繊維の末はけむって、そのあえかさ、となる。夜に咲く佳麗なこの花は夜明け前にしぼむ。

カラスウリの実は秋から冬にかけて赤く熟す。枯れたつるから垂れ下がる景は冬の風物詩の1つだ。つるを手繰り寄せ、実を解すと、20個程の種子が採れる。種子は黒味がかかった茶褐色の粒で変わった形をしている。カマキリの頭に見えたり、大黒天を彷彿させたり。そのため財布に入れておく風習もあったようだ。また、古代の結び文に似ていると言う。辞書でみると、結び文は書状を巻きたたみ端を結んだものがある。とくに恋文の結び文に似ているとあり、古代ロマンを思い浮かべてしまう。(小澤啓男)



カラスウリの種子

会員の紹介

エトセトラ

正会員 新井 進

西宝珠花の大凧あげ祭りは、むかしは、たしか旧暦の五月（現在の六月）だったかな。田植えの真っ最中で両親や家族は、凧あげ祭りどころではなく、田んぼから雄大に上がった大凧に幸せを感じたものでした。

子供たちは、集まっては凧作り、竹をナイフ割削り、凧の骨を作る。必ずというくらい手を切っていた。紙は半紙、糸は裁縫用の糸である。完成してもまずは上がったことはなかったかな。生まれた時から凧との関りがあり、会社卒業後、「宝凧の会」から誘いがあり活動をしてきました。



NPO 活動に参加して、清掃しながら、こんなにもきれいになった桜並木通りに、もう一つ何かうるおいがあるといいかな～と思い、そこで、大凧のカラー（赤と緑）でポスターを書いて掲示してはと始めてみました。大凧の文字「平成、感謝」をはじめ「四字熟語」がいいかなと「一生稽古」「敬天愛人」やら、月の和暦（1月から12月）、七福神等々を掲示させて頂きました。

これからも、凧作り教室をはじめ、体力の許す限り協力していきたいと思えます。

ご支援を頂いている 団体賛助会員様

* 受付登録順

庄和商工会

(株) 道の駅庄和

(株) 桐の樹環境

金崎区 (自治会)

(有) 庄和商事

関東いすゞ自動車(株) 春日部支店

庄和中央病院

埼玉みずほ農協 庄和中央支店

小笠原医院

上柳区 (自治会)

東武スポーツクラブみなみさくらい

○ 個人会員（8月末 現在） 正会員 74名 賛助会員 92名

「NPO法人庄和ふる里を守る会」からの報告

当会のボランティア活動の一端を支えて頂いている春日部市の公園緑地課による協力は次のようなものがあります。

- ① 美化協定に基づく美化実施に関して、年間 76,260 円の手数料を頂いている。
- ② 年2回実施している「みんなで花を植えよう」開催の際に、花の提供を受けている。
- ③ 公園で利用者が支障をきたす箇所のメンテナンスなどをやってもらっている。



【編集／発行】

NPO法人庄和ふる里を守る会 「ふる里庄和」編集委員会
〒344-0121 春日部市上柳183
(TEL) 090-7903-3971

「第14回 みんなで花を植えよう」

の参加者募集

「子供の町」の子供たちと楽しく一緒に、花植えと凧作りをしませんか。関心のある方は下記のご案内を見て頂き、参加のほどよろしくお願ひします。

実施のご案内

1. 日時 10月23日(日) 10時~12時
2. 場所 庄和道の駅さくら公園 (雨天の場合は中止)
3. 参加費 無料
4. 服装 汚れてもよい服装・靴、帽子、タオル、軍手、飲み物
5. 申込先 内田美苗(090-2627-8412)
阪口千嘉子(090-9148-5914)
6. 申込締切 10月15日(土)



「第6回 庄和の自然を学ぼう」

の参加者募集

樹木が秋の装いの庄和総合公園を歩いてみませんか！ 疑問や不思議なことを小澤講師から説明を受けながら、ゆっくり散策をします。

1. 日時 11月5日(土) 13時
2. 場所 庄和総合公園
3. 集合場所 庄和支所 玄関前 (駐車場有り)
4. 参加費 資料代 200円 (簡単なガイドブック)
5. 申込先 世利文夫(090-4810-7620、メール)
野口栄三(090-3316-8587、メール)
6. 申込締切 10月29日(土)
7. 募集定員 20名(先着順)

